

九州地区で初めての段位認定会を開催！

日本三大カルスト台地「平尾台」



一般社団法人 全麺協では、平成9年に素人そば打ち段位認定制度を事業化して、全国各地で段位認定会を開催しています。段位認定者数は今年2月12日時点で13,019名を数えています。しかし、九州・四国・山陰・東北北部地域においては段位認定会が開催されていないため、段位認定者が少ない地域でした。

全麺協はこのような段位認定者の少ない地域における、そばの普及と地域

振興を図ることを重点目標に掲げて普及活動を行ってきました。その結果、全麺協・西日本支部の全面的な支援を受け、日本三大カルスト台地の“平尾台”にある「平尾台自然の郷」を会場として、九州地区で初めてとなる初段位・二段位認定会が開催されました。

この段位認定会は、九州地域で唯一の全麺協正会員である「平尾台手打ちそば倶楽部（丸山一政 代表）」が主管して開催されましたので、その概要についてご報告いたします。

（報告者：段位認定事業部長 加藤 憲）

1. 開催日時

①初段位認定会 3月11日(土)

午前9時30分～午後4時

②二段位認定会 3月12日(日)

午前9時30分～午後3時

2. 開催場所

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-1-1

平尾台自然の郷

3. 受験者数

初段位：28名 二段位：7名

4. 審査員

初段位 審査員長：板倉敏和 審査員：山本 剛、山本隆光、山本早知子、柿川徳子

二段位 審査員長：板倉敏和 審査員：嘉納康剛、山本 剛、篠原美文、北崎サエ子

5. 開催概要

九州地区で初めての認定会開催であり、主管する「平尾台手打ち蕎麦倶楽部」のスタッフにとっては、初めての経験であることに加えて高齢メンバーが多かったのですが、「受験者ファーストの精神」と「九州初めての認定会を絶対成功させる！」との強い意気込みを随所に感じました。関係者の尽力によって、大変円滑な認定会運営がなされたこ



とにより、初段位に受験した28名の全員が、二段位でも受験した7名全員が合格するという審査結果につながりました。

審査員の講評によると、初めての認定会だから特別な配慮したということは全くなく、全員がそれぞれの段位技能を十分に持ち合わせてレベルが高く、この認定会に臨む前に相当の練習訓練をされたと認められるということでした。

6. 段位認定会開催による成果

この認定会は全麺協に対する理解度があまり進んでいない九州地域における開催であり、どの程度の受験応募があるのか分からない状況でした。

しかし、「平尾台手打ちそば倶楽部」の会員をはじめ、西日本支部の会員によるネットワークを活用しての啓発、受験勧奨活動、受験に向けての指導が行われていたために、福岡県うきは市、鹿児島県伊佐市、大分県豊後高田市等、予想を超える広範囲から受験者が集まりました。



受験者の技能レベルも高く、全員が段位認定を受けましたので、認定者の方々による波及効果が相当期待されるものと思われます。段位認定者からは、「今後、地元でそば打ち愛好会などを結成して活動を進めて行きたい」という声も上がっているほか、鹿児島県志布志市から市職員3名が視察に訪れて、つぶさに段位認定会を見学されていました。見学を終えた市職員から、今後、市の地域振興施策の中に取り込みたいとの感想を聞くことが出来ました。

このように、今回の段位認定会の開催は九州地域におけるそば普及に大きな一石を投じたものとなり、今後に向けて波及効果が大きいと期待されるところです。このことを裏付けるように、段位認定会の様子がすぐに新聞報道されましたので添付しておきます。

— 以上 —

会が12日、北九州市であり、趣味でそばを打つ35人が初段と二段を目指して挑んだ。【取違剛】

◇全国のそば好きでつくる団体「全麺協」(東京)の「素人そば打ち段位認定」は来年以降も開催したい意向。全麺協も全面協力することになっている。

真。◇認定会はそば打ち技術の向上を目的に20年前から全国で開かれているが、九州では初開催。受験者は制限時間の40分、約10食分のそばを打ち、全麺協理事の審査を受けた。◇この日は全員合格し晴れて有段者に。ホスト役を務めた「平尾台手打ちそば倶楽部」は来年以降も開催したい意向。全麺協も全面協力することになっている。

【取違剛】